

H25年度9月朝礼 「心のスイッチ」

H25.9.9 橋本

昨日は日本としてとても大きなニュースがありましたね。2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したというニュースです。みなさんもテレビ等できっと目にしたのではないかと思います。7年後なので、みなさんは20才～22才になっていますね。今からとても楽しみですね。

さて、先週3年生は第1回の学力調査テストが終了しました。集計結果を見せて頂きましたが、さすが3年生なかなか頑張りましたね。5日には私立高校の進路説明会もあって、きっと進路を決定していかなくてはいけないと意識が高まったかと思います。

また、2年生は職場体験学習、お疲れ様でした。きっと緊張の連続ではなかったかと思いますが、体験先の方から「とてもよく頑張りました。」とお褒めの言葉を頂いたところもありました。「働くことの大変さとやりがい」を感じた3日間だったと思います。

1年生は防災学習ということで「地震防災センター」での体験をしてきました。5月に行われた避難所生活体験学習に加えてさらに、地震防災への勉強がたくさんできたことだと思います。

今週からは授業が本格的に再開され12日には定期テストがあります。また、28日、29日には新人戦が、そして、10月11日には栄中祭があります。大きな秋の行事を一つ一つを成功させるにはみなさん一人一人の心構えが大切ですね。

それでは、次の「心のスイッチ」という詩を読んでみてください。

心のスイッチ

東井義雄

人間の目は ふしぎな目
見ようという心がなかったら 見ていても見えない

人間の耳は ふしぎな耳
聞こうという心がなかったら
聞いていても 聞こえない

頭もそうだ
はじめからよい頭 わるい頭の 区別があるのではないようだ
「よし、やるぞ！」と
心のスイッチが入ると
頭も
すばらしいはたらきを しはじめる

心のスイッチが 人間を
つまらなくもし すばらしくもしていく
電灯のスイッチが
家の中を明るくもし 暗くもするように



どうでしょう。読んでみて、どんな感想を持ったでしょう。3年生の中には、前回のテストで、以前の点よりかなり上がった人がいました。きっと、学習に向けて「心のスイッチ」が入った人ではないかと思います。6月の朝礼で松井選手の大切にしている言葉「努力できることが才能である」というお話をしましたが、その3年生は「心のスイッチ」が入って、夏休み中、努力ができたのだと思います。よく頑張りました。

「心のスイッチ」を入れるのは誰か、他の人が助けてくれることもあるかもしれませんし、何かのきっかけで入ることもあるかもしれません。でも、スイッチを入れるのはやっぱり自分自身です。どうやったらスイッチを入れることができなのか。これが問題ですね。考えてみました。スイッチの入れ方は、まず①自分なりのはっきりとした目標を持つこと、②そのためまずは小さな1歩を踏み出すことではないかと思います。みんな心のスイッチを持っています。スイッチさえ入れば、きっとその人なりの頑張りができるはずです。

今日から、今から心のスイッチを入れてみましょう。お話を終わります。